

英語の諺のパラフレーズ*

倉島史憲**

1. はしがき

諺は、英語の proverb の語源 pro- (=before, publicly)+verbum (=word) 及び *The Oxford English Dictionary* (1978), *Webster's New World Dictionary of the American Language* (1968) や *The American Heritage Dictionary of the English Language* (1971) の “proverb” や “maxim” の項が示すように、「人々の間で評判になっている言葉」であり、“maxim” (格言) を含めて、真理や真実を述べ、さらには人間の行動の規準を示す簡潔にして含蓄のある表現となっている言葉である^①。それは口碑により、或は聖書、文芸作品などから採られて広く伝えられてきたものである。筆者が、このような言葉に関心が深まり、心を動かすようになったのは、先ず、現代の人心世相風俗の乱脈と逸脱や頽唐放漫の風潮が気になり、ついで若い人達がそれらに汚され毒されないために英語教習の場をあずかるものとして身近な可能な途は何かを考えたこと、更に諺、格言を解釈し言い換えることによって、英語の学力涵養を図りながら諺の教訓性を学習者に浸透させて、少なくとも軽拳浮薄になじまぬものにはできはしまいかと思つたためであつた。諺の倫理的効果を過大に期待できないであろうが、諺は人が変り世が移つても、いろいろ価値観が転々しようとも、古来より語り継がれ、今も語られて生きている。それは、諺には不変の真理があるからである。即ち日常茶飯事のレベルから、家、処世、自然、人生、国、社会、その他諸々に至るまで、それらのありようの真を衝いているためであろう。それは粉れもない暮らしの知恵、体験の教訓である。民俗的、時代的な感覚や思想の潤色は多少であろうが、それらの基底層として共通する人間性に根差す故に、普遍的な道理を示すのであろう。このような諺が時としてそのままでは学生諸君は意味把握困難の反応を示すことが多い。

そこで、英語による言い換え説明によってより深く理解させ、諺の意義を教材として学びながら可能な限り認識させようと考え、「英語の諺のパラフレーズ」という一方法を試みることにした。

2. パラフレーズの意味

paraphrase の語源は、“to say in other words” や “to tell the same thing in other words” という意味に当るギリシア語の ‘παράφρασις’ がラテン語に入り、次いでラテン語からフランス語へ、更に英語へと入り、現在の paraphrase となった。

さて、諸辞書によると次のとおりである。

* 昭和56年10月3日日本時事英語学会において発表

** 一般科 英語講師

原稿受付 昭和58年9月30日

Webster's New Dictionary of the American Language (1968): "a rewording of the meaning expressed in something spoken or written"

The Shorter Oxford English Dictionary (1966): "To express the meaning of (a word, phrase, passage, or work) in other words, usually with the object of fuller and clearer exposition; to render or translate with latitude"

Longman Dictionary Contemporary English (1978): "a re-expression of (something written or said) in different words esp. words that are easier to understand"

The American Heritage Dictionary of the English Language (1970): "A restatement of a text or passage in another form or other words, often to clarify meaning"

Kenkyusha's English-Japanese Dictionary (1953): 釈義 (言葉を換えまたは敷衍して原文を義解すること); 意訳 (されたもの) (free translation)

Sanseido's College Crown English-Japanese Dictionary (1977): 「義解, パラフレーズ, 意訳 (言い贅えまたは詳しい説明により原文を明解すること)」

以上のことから, パラフレーズ (paraphrase) とは, 「ある語句または文節を, その意味が明瞭になるように他のことばで表現し直すこと」である。即ち詩・俳句・諺などの意味を理解し易く平明簡潔に表現し直すことをいうのである。

尚, 本稿におけるパラフレーズ衍義では, 次の五点に留意した。

- 1 多くの諺はほとんど簡潔な比喩的表現なので, つとめて来歴に触れる。
- 2 できるだけ分かり易い口語英語の, または平易な表現にする。
- 3 適切なる単語, 慣用表現を選ぶ。
- 4 助動詞を活用する。
- 5 表現が冗長 (redundant) にならないようにする。

3. パラフレーズ衍義

1. A bad workman always blames his tools.

日本語の「下手の道具立て」, 「下手の道具えらび」に相当するもので, 十三世紀末のフランス語 "mauves ovriers ne trovera ja bon hostill" (=a bad workman will never find a good job) に由来することからしても⁽²⁾, 「自分自身の力量・技量の欠如」を棚上げしていることをいっている。 *English Proverbs Explained*⁽³⁾ の説明によると, "Good workmanship depends no more on the quality of the tools than it does on the way in which they are used, so to blame the tools for bad workmanship is to attempt to excuse one's own lack of skill." とある。これでは長文すぎ分かりにくいので, この諺の持つ「弁解」と「負け惜しみ」の気持を習性傾向の助動詞 "will" または成句 "be apt to-V" や副詞の "often" などを用いて, "The incompetent often find fault with their tools than themselves." や "Unskillfulmen will make excuses for their own faults." と一文で表現する方が⁽⁴⁾, まさに "Brevity is the soul of wit."⁽⁵⁾ を感じさせ分かり易いといえよう。この反対の諺に "The cunning mason work with any stone." (うでのよい右工はどんな石でも仕事をす)がある。この諺は, 「弘法筆を選ばず」を思わせ, "A skilled man can produce a good finished product." の意である。

2. A bird in the hand is worth two in the bush.

中世ラテン語の '*Plus valet in manibus avis unica fronde duabus.*' (=One bird in the hand is worth more than two amongst the foliage.) に由来し⁶⁾、日本語の「明日の百より今日の五十」と全く趣旨は同じ気持で、“The very thing that we have now is better than something that we may not be able to get.” や “We should make use of what we have now rather than waiting for something in the future.” の意である。“Better an egg today than a hen tomorrow.” も同じ気持の諺である。

3. Anger punishes itself.

ラテン語の '*Furiosus furore suo punitur.*' (=A person who flies into violent anger is punished by his own rage.) に由来し⁷⁾、日本語の「短気は損気」に相当し、“We should calm down and be careful.” を教えている。Benjamin Franklin (1706-1790) は、「怒り」について、“Anger is never without a reason, but seldom with a good one.” (怒りには理由はなくはないが、よい理由であることはめったにない) といっているように、「怒り」は私たちの敵なのである。また、性急なことも敵なので、“Anger and haste hinder good counsel.” という諺もある。“Out of temper, out of money.” も同意の諺である。

4. Art is long, life is short.

“Life is short, but art is long.” という意味の Hippocrates (460-377 B.C.) の *Aphorism I.I.* にあるギリシア語 “*ὁ βίος βραχύς ἢ δὲ τέχνη μακρῆ*” または、ラテン語の '*Ars longa, vita brevis.*' (=Art is long, life is short.) に由来する⁸⁾。特に “art” については、“Hippocrates compares the difficulties encountered in learning the art of medicine or healing with the shortness of human life.”⁹⁾ とあるように「芸術」のことをいっているのでない。従って、この諺は、“There are so many things to learn in the world, but we have so little time.” ということをしていっている。まさに朱熹 (1130-1200, 南宋の儒学者) の漢詩「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず、未だ覚めず池塘春草の夢、階前の梧葉既に秋声」の最初の一行 (少年易老学難成) の精神を思わせる諺といえよう。

5. Bread is the staff of life.

“bread” は、「命の糧」である「食物」(food) のことであるから、この諺の精神は、“Food supports life.” ということである。“Bread is better than the song of birds.”¹⁰⁾ や “Pudding rather than praise.”¹¹⁾ の “bread” 及び “pudding” は、「食物」の意味である実利実益のことである。

6. Curiosity killed the cat.

この諺は、詮索好きが窮地に通じていることを示すもので、“A nosy person in many direction is liable to be *treed* (=held at bay).” ということである。この諺は、[K] の頭韻を踏んでいて覚え易い。また、猫については、“A cat has nine lives.” といわれるほどいかに執念深いものでも、心配や好奇心によって命を落とす、というのであるから、おせっかいな人には警告になる諺である。とにかく、好奇心については、“Too much curiosity lost Paradise.”¹²⁾ という諺があるほどである。

7. Curses, like chickens, come home to roost.

“curse”については、“Curses rebound on the head of the curser, as chickens which stray during the day return to their roost at night.”といわれる⁴⁴。従って、この諺の精神は、“If you do injury to others, you will be done (in), too.”や“A man who injures another’s reputation will pay the penalty for it.”ということになろう。また、この諺は、単に“Curses come home to roost.”や“Chickens come home to roost.”ともいわれる。日本語の「人を呪わば穴二つ」に相当する。とにかく「呪い」は、“The curse sticks to the tongue of the curser.”⁴⁵というほど恐ろしいものである。また、“Those who live in glass houses should not throw stones.”⁴⁶という諺も同じ気持を示す。

8. Doing nothing is doing ill.

この諺の意味は、“We have the duty to do good by nature, so we should try to do it all the time.”ということである。四書の一つの『大学』に出ている「小人閑居して不善を為す」を思わせる諺であるが、“Idleness is the root of all evil.”、“Idleness is the parent of all evil.”や“All sins come out of the house of idleness.”の諺の方がむしろこの漢文に近い。この三つの諺の気持は、“If we idle away time, we are liable to do bad.”である。諸悪の根元をなすものに、「怠惰」のほかに、「お金」がある。それを物語る諺に、“Money is the root of all evil.”⁴⁷がある。

9. Easier said than done.

この諺は、“Deeds, not words.”や“Actions speak louder than words.”などの諺と同じ意味を表わし、“It is more important to carry out something than to talk about it.”や“Saying and doing are two different things.”とパラフレーズでき、「実践・実行」の尊さをいっている。“Fine words butter no parsnips.”も口先だけでなく、「実行力」の必要性を訴えている諺である。これらの気持をよく表わしている Theodore Roosevelt (1858-1919) の“Speak softly and carry a big stick.”⁴⁸という名言がある。

10. Fools rush in where angels fear to tread.

Alexander Pope (1688-1744) の *Essay on Criticism* 1,625 の “No place so Sacred from such Fops is barr’d, Nor is Paul’s Church more safe than Paul’s Church-yard: Nay, fly to Altars; there they’ll talk you dead; For Fools rush in where Angels fear to tread.” に由来し⁴⁹、中国の故事の「飛蛾火に赴く」(飛蛾赴火)を思わせるが、「盲蛇におじず」の方がこの諺に近く、“Ignorant men often act recklessly.”や“We should try not to act rashly.”とパラフレーズできよう。従って、この諺は、「言動は慎重に」と教えている。

11. Handsome is as handsome does.

この諺の“handsome”について CODP の p.106 に “Handsome denotes chivalrous or genteel behaviour, though it is often popularly thken to refer to good looks.”とあるように “good-looking” のことばかりでなく、“generous” のことも意味する⁵⁰。尚、後の方の“handsome”は、副詞であるから、ふつうの文にすると、Handsome is he who does handsome.”となる。従って、“A man who is well-behaved is a man of good character worthy of the name.”とパラフレーズできる。この諺に近いものというよりはほぼ同意である「みめより心」というのがある。また、似た諺に、“Beauty is but skin-deep.”がある。

12. Haste makes waste.

一般に, “waste” について, CODP の p.108 “Waste properly means the squandering of time, money etc., though it is also used with reference to material waste.” とある。また, Chaucer (1340?-1400) の *Tale of Melibee* 1.2244 に “The prouerbe sith.. in wikked haste is no profit.” ともあるように、, “anger” と共に “haste” は敵なのである。(No. 3参照)

従って, “If you are hasty, you are far from being successful.” とパラフレーズできる。同じ気持を示す諺に, “More haste, less speed.”, “Make haste slowly.” や “Slow and steady wins the race.” などがある。日本語では, 「せいてはことを仕損じる」や「急がばまわれ」といわれている諺である。

13. He knows most who speaks least.

文法的に “He who knows most speaks least.” のことで, “A man of great knowledge will be careful of his speech.” とパラフレーズできる。日本語では, 「知者は黙す」といわれる諺である。似た諺に, “Still waters run deep.” があるが, こちらの方には, “A man of few words has an evil thought.” という気持も含まれる。あまり口数の多過ぎる人に警告になる諺に, “He cannot speak well who cannot hold his tongue.” や “Speech is silver, silence is gold.” とがある。

14. Hunger is the best sauce.

Marcus Tullius Cicero (106-43 B.C., ローマの政治家・哲学者・著述家) の *De Finibus* II. xxviii. の “*Cibi condimentum esse famen.*” (=Hunger is the spice of food.)⁴ や Socrates 470?-399 B.C.) のいった “The best sauce in the world for meates, is to bee houngrie.” に由来するといわれる⁴。これらの由来も示すように, “Whatever we eat in hunger, we can enjoy eating.” とパラフレーズできる。“sauce” は元来, ラテン語の “*sal-sum*” (=“salt” で味をつける) から “*salsa*” を経てフランス語に入り, “sauce” となり英語に入ったのである。要するに, 「飢」が食物をおいしく食べさせてくれる最高の調味料であることをいっている諺である。

15. Kill not the goose that lays the golden eggs.

これは, イソップ物語に由来し, 一度に金の卵をすべて欲しいという貪欲のためにがちょう (goose) を殺してみた, という話から出たものである。従って, “If you are not greedy you will keep something good that you have now.” の意である。この諺は, “Don't kill the goose that lays the golden eggs.” ともいわれる。この諺に対して Kill the goose that lays the golden eggs.” というのがある。こちらの方は, “Greed causes a great loss.” や “Greed is the root of a great loss.” の意である。とにかく, 人間の欲も限度を越えろと, 大損をもたらす, という警告の諺である。

16. Let bygones be bygones.

この諺の “bygones” について, “Bygones are things that happened in the past.”⁴ とあるように, この諺は, “We should forget things of the past.”, “We should not blame a person things in the past.” や “Forget the past.” などの意である。この諺を GAI の p. 202 にあるように cliché として扱っている書物もあって, “Forgive and forget.” と説明

できる。“Let's start afresh.”ということで、落ちこんでいる人に励ましになる諺である。

17. Live and learn.

“We live and learn.”ともいわれる諺で、“The longer we live, the wiser experiences we have.”の意である。私たちは生きている限り経験によって学ぶものであり、その学んだものは、“Learning is a treasure of life.”となる。

18. Live and let live.

オランダの諺に由来し、元は、“Leuen ende laeten leuen, to liue and to others liue.”とあるように、⁸⁾ “Live and let others live.”といってもよい。‘give-and-take’をよく表現している民主的で思いやりを示す諺で、“We should have the idea of give-and-take, and live in harmony.”や“Let others do as they wish, because we want to do as we wish, too.”の意である。米国の諺に“Good or bad we must all live.”というのものもある。

19. Look before you leap.

気持の上から「転ばぬ先の杖」, 「濡れぬ先の傘」, また「念に念を入れよ」に相当する。その点, “Try before you trust.”, “Prevention is better than cure.”や“An apple a day keeps the doctor away.”などの諺とも共通の気持が含まれる。従って、いずれも「物事は慎重に」或は「遣り損うことのないように」と教えているので, “We should be careful and try not to fail in something before we begin.”または, “We should begin to put something into action after we think it over.”とパラフレーズできる。

20. Many hands make light work.

Erasmus (1466-1536, オランダの人文主義者) の *Adages* II.iii.95 の “*Multae manus onus levius reddunt.*” (=Many hands make a burden lighter.) に由来し⁹⁾, 「仕事は大勢」または「餓鬼も人数」を思わせ, “A great many people will promote efficiency in jobs.”や“*The job will make much progress if it is done by a great number.*”とパラフレーズできる。この諺は“light”の代りに“quick”や“slight”も使われる。この反対の諺に “In attaining a goal, too many people spoil it.” 或は “If too many people engage in doing a job, they cause confusion.” の意をもつ “Too many cooks spoil the broth.” という諺がある。こちらの方は, 「船頭指くして船山へ上る」に相当しよう。その点, “The more cooks, the worse pottage.” も同意の諺である。

尚, 「餓鬼も人数」は, “The more children there are working together, the greater work they perform.” とパラフレーズできよう。

21. Many men, many minds.

この諺について, BDPF の p.683 に “there are as many opinions as there are men, as Terence says, *Quot homines tot sententiae* (*Phormio*, II, iv, 14).” とある。同意の諺に “So many men, so many minds.” や “So many men, so many opinions.” がある。精神は, “A man has his *personality (individuality)*” や “The minds of men are as different as their faces.” である。同じ気持を示す諺に, “No two men are alike.”, “No two minds work alike.”, や “There is no accounting for tastes.” などがある。日本語では, いずれも「十人十色」といって差し支えない。“There is no accounting for tastes.” については, 「蓼食う虫も好き好き」ともいわれる。

22. Marriage is a lottery.

「結婚は運」または、「結婚は回り合わせ」といわれる諺である。結婚には、あたりはずれのあることを表わしている諺なので、“Luck effects whether one’s marriage is a great success.” とパラフレーズできる。結婚については、“Marry in haste, repent at leisure.” という諺もある。これは“You should be prudent and careful in marrying, so you should not be hasty.” が大切であることを表わしている。

23. Need will have its course.

“Necessity is the mother of invention.”, “Want makes wit.” や “Want is the mother of industry.” などの諺とも同じ気持を表わし、「窮すれば通ず」を思わせる。この諺の“Course” は、「採るべき道・辿る道」ということであるから、“If necessity compels a person to do anything, he will have to try to find a way of doing it.” または、“Even if everything goes against us, we’ll be able to improve the situation if only we keep on trying to do it.” ということになる。米国の諺の “Necessity is a good teacher.” も同じ気持を表わす諺である。

24. Never too old to learn.

Seneca の *Epistle lxxiv.* にある “*Tamdiu discendum est, quamdiu nescias: si proverbio credimus, quamdiu vivis.*” (= We must go on learning as long as we are ignorant; or, if we believe the proverb, as long as we live.) に由来し⁸⁾、“Never too late to learn.” も同義の諺である。ふつうの文では、“One is never too old to learn.” ということであり、“There is no end to learning. So we have to learn one thing or another whether we are young or not.” の気持を示す諺である。日本語では、「六十の手習い」もしくは、「八十の手習い」に相当する。

25. Old men are twice children.

Aristophanes (445-385 B.C., ギリシアの喜劇作家) の「雲」(*Nubes*) 1417. の “*Ἐγὼ δὲ γ’ ἀντρέποιμ’ ἄν, ὡς δὲς παῖδες οἱ γέροντες.*” (=I would reply that old men are twice boys.) に由来し⁹⁾、“When a man grows old, he will have a childlike mind again.” 或は “An old man will become childlike again.” とパラフレーズできる。また、由来に見るように “boy” の意の “child” の単語の点から、“When a man grows old, he becomes like a child, selfish and spoilt.” とパラフレーズできよう。

26. Practice makes perfect.

ラテン語の “*Usus promptum facit.*” に由来し、最初は “Use maketh pefectness.” といわれ、十六世紀頃からの今の形になった¹⁰⁾。日本語ではよく「習うより慣れろ」といわれる。“If you make every effort at something, you ought to improve in it.”, “A man can do well what he repeats.” や “It is easy for us to do everything if we have a habit of doing.” などの精神を示す。“Custom makes all things easy.” も同意の諺である。

27. Spare the rod and spoil the child

Old Testament の *Proverbs xiii, 24* にある “He who spared the rod hates his son, but he who loves him is diligent to discipline him.” が元である¹¹⁾。「愛のむち」の必要性をよく表わしている諺で、“If children do wrong, we must give physical punishment

on them for it.” 或は “Children need physical punishment to make them men of good character.” などの意味である。日本語の「かわいい子には旅をさせよ」を思わせるが、こちらの方は、“Parents should let their children have bitter experiences, for they will become men of character through those experiences.” という気持を表わしている。この諺は英国の国民性をよく表わしている諺の一つである。

28. Talk of the devil, and he will appear.

“Talk of the devil, and he is sure to appear.” 或は, “Talk of the devil, and he is bound to appear.” ともいわれるが, 単に “Talk of the devil.” と簡略しても使われている⁸⁰。また, この諺の “devil” は, 悪い意味なので, “Talk of angels, and you will hear their wings.” の方がよく使われている。精神は, “The very man that we are talking about often appears.” である。日本語の「噂をすれば影 (がさす)」というのに相当する。

29. There's no place like home.

John Howard Payne (1792-1852, 米国の作家) のオペラの中の歌, “Home, sweet Home” (1823) の一節—

Mid pleasures and places though we may roam,
Be it ever so humble, there's no place like home.
Home, home, sweet home! There's no place like home!
There's no place like home!

とある⁸¹。日本では、「殖生の宿」として歌われている。この諺と同じ気持を示す諺に, “East, west, home is best.” があるが, いずれも, “However simply we live, we don't feel at ease except in our home.” や “However out-of-the-way a house we live in, it is the best place for us to rest.” の意味である。この諺は, 「住めば都」を思わせるが, こちらの方は, “If we get used to living in some place, it comes to feel comfortable.” の気持を示す。この諺は, 一般に「我が家にまさる所なし」といわれている。

30. While there is life, there is hope.

Cicero (No. 14 参照) の *Ad Atticum* IX. x. “*dum anima est, spes esse dicitur*” (=as the saying is, while there is life there is hope.) に由来し⁸², 日本語の「命あっての物種」を思わせる。この諺は cliché として扱われている “Never say die.” と同じ気持を示すもので, “The hope might be only a bit, but as long as we live, there is always possibility that the situation will get better.” とパラフレーズできる。尚, 「命あっての物種」の方は, “We cannot do anything without life.” という気持を示す。

4. あとがき

こうしてパラフレーズしてみると, 諺のもつ独特の “rhythm”, “rime” そして “pithiness” などが失われてしまうことは否めない事実であるが, 諺の特色である直喩 (simile), 隠喩 (metaphor), 誇張 (hyperbole), 簡潔 (brevity) から来る省略, 警句 (epigram), 対比 (contrast) 等のための分かりにくさを分かり易くするために, 「パラフレーズの意味」の章で, 「パラフレーズとは何か」を問い求めたように, 理解し易い平易な英語による言い換え表現を試みた。この試みによって, 学生の理解と関心が得られるように思う。何故かといえ

ば、一年と三年の各学年のークラスずつの計80名に「パラフレーズによる諺説明」について意識調査を試みたところ、ほとんど全員(90%)が理解を示し、こうした説明を希望する学生も過半数に達する70%を占める好結果からうかがえるからである。この意識調査は、一部を紹介したにすぎないが、学生たちにとって、パラフレーズによる諺指導の一方法は、有益であることを示しているといえる。

諺は、先人の並々ならぬ生活体験からの結晶である。英語の学習活動の中で、そのパラフレーズの学習を通して、効果的な“communication”ができるものとしての諺に対する理解と興味を深め、諺の道理、滋味、美しさを心に訴え、日常生活の糧とすることを願うのである。

注

- (1) 拙著、『英語諺解釈』(学書房, 昭57) pp.1-3.
- (2) *The Concise Oxford Dictionary of Proverbs*, ed. J.A. Simpson (London: Oxford University Press, 1982), p.9. (以下 CODP と略記)
- (3) R. Ridiout & C. Witting, *English Proverbs Explained* (London: Heinemann Educational Company Ltd., 1974), p.27 (以下 EPE と略記)
- (4) 『英語諺解釈』p.16. 本稿の英語の諺のパラフレーズは主として本書による。
- (5) Shakespeare, *Hamlet* II,ii. 90-92, “Since brevity is the soul of wit... I will be brief.”
- (6) CODP, p.19.
- (7) *Sanseido's Dictionary of English Proverbs*, ed. Takanobu Otsuka & Seizo Takase (Sanseido, 1976), p.14.
- (8) CODP, p.6.
- (9) *Loc. cit.*
- (10)(11) “We are inclined to make much of actual profit.” の意.
- (12) “We should not be curious about anything excessively.” のことで、この前段階が、“Forbidden fruit tastes sweet.”
- (13) I.H. Evans, *Brewer's Dictionary of Phrases and Fable* (London: Cassell & Company Ltd., 1975), p.439. (以下 BDPF と略記)
- (14) *A Dictionary of American Idioms*, ed. Adam Makkai (New York: Baron's Educational Series Inc., 1975), p.54. (以下 DAI と略記)
- (15) *Dictinnary of American Proverbs*, ed. David Kin (New York: Philosophical Library), p.62.
- (16) “A person with faults should not criticize others, or he will be criticized. の意.
- (17) 正確には、“The love of money is the root of all evil.” (I Timothy vi, 10) であるのを誤って引用されたもの。
- (18) *American Sayings*, ed. H.F. Woods (New York: Perma Giants, 1950), p.75.
- (19) CODP, p.86.
- (20) EPE, p.78.
- (21) CODP, p.108.
- (22) *Ibid.*, p.116.
- (23) *The Oxford Dictionary of English Proverbs*, ed. F.P. Wilson (London: Oxford Uni-

versity Press, 1970), p.392. 以下 DEP と略記)

- ②4 EPE, p.106.
- ②5 ODEP, p.473.
- ②6 *Ibid.*, p.509.
- ②7 CODP, p.161.
- ②8 ODEP, p.591.
- ②9 秋本引介『英語のことわざ』(創元社, 昭44), p.111.
- ③0 ODEP, p.759.
- ③1 CODP, p.220.
- ③2 James Kirkup, *Everyday English* (Asahi Press, 1975), p.73.
- ③3 CODP, p.133.

(本論は、昭和56年10月3日、南山大学において開かれた日本時事英語学会第23回年次大会で発表した拙稿「英語の諺のパラフレーズ」に加筆したものである。)